

誠心 まごころ

第15号
2022年10月1日 発行

発行
医療法人社団 誠広会
平野総合病院



泌尿器科職員

泌尿器科の紹介

泌尿器科部長 多田 晃司

泌尿器科は、今年で開設37年目になります。岐阜大学附属病院からの非常勤医師による外来診療から始まり4年後に常勤化となり現在に至っています。病院の規模が大きくなるとともに当科でも大病院と同じような手術や入院診療を行っていましたが、高度化した急性期疾患の診療が公的な拠点病院に移行している現在は、泌尿器科疾患の入り口としての外来での診断や治療を主におこなっています。

以前から尿路性器の感染症や腫瘍、尿路結石症、透析療法に関わる腎不全などを扱ってきましたが、最近では社会の高齢化により頻尿、排尿困難にかかわる排尿障害の診療が大きな割合を占めてきました。初発症状としての就寝中2回以上排尿のために起床する夜間頻尿でお悩みの方が増加しています。原因は夜間就寝中に腎臓で作られる尿量が増加して膀胱が早くいっぱいになってしまう夜間多尿、あるいは膀胱に尿がたまっていないのに何らかの原因で尿意が早く発現する過活動膀胱と大まかに2つに分類できます。特に夜間多尿になる原因として利尿ホルモンに関する内分泌疾患や睡眠時無呼吸症候群の他、糖尿病や高血圧、心不全などの内科的疾患が隠れている場合があります。夜間頻尿は高齢者において転倒骨折などを誘発する切実な問題であります。症状が気になる方はまずは原因検索のために泌尿器科外来を受診されることをお勧めします。

産婦人科の紹介

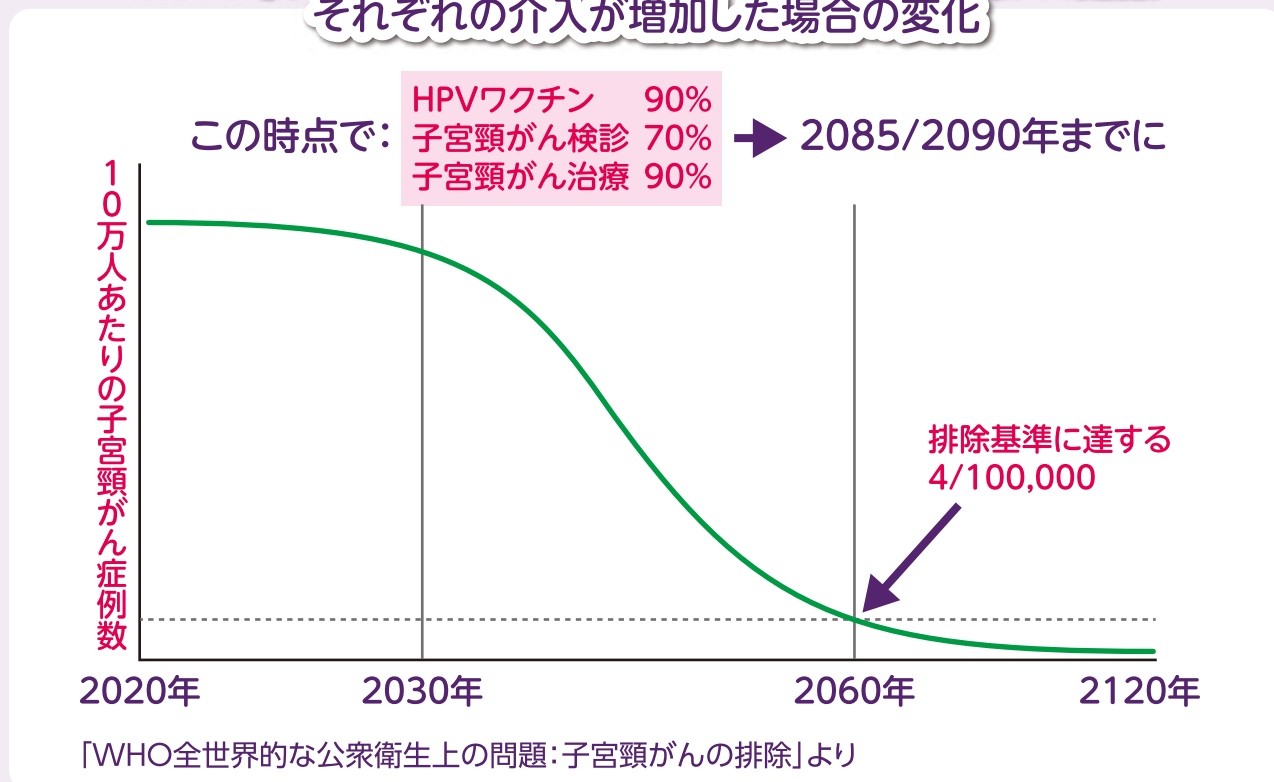
理事長兼産婦人科医師 平野 聡子

産婦人科は女性特有の臓器(子宮、卵巣、外陰部、膣など)の病気(子宮筋腫や子宮内膜症や卵巣腫瘍などの良性腫瘍、子宮頸がん・子宮体癌・卵巣がんなど悪性腫瘍)や、妊娠・出産にかかわること、不妊にかかわること、月経(過多月経、月経不順、無月経、月経困難症など)にかかわること、ホルモンバランスの乱れによる症状や、閉経後骨粗鬆症など女性特有の症状に対して治療をする科です。

乳腺については乳腺外科ですが、マンモグラフィーを行い、必要に応じて乳腺外来で超音波を見てもらったりMRIを行ったりし、岐阜大学の乳腺外科とも連携して診療を行っています。

令和4年度のトピックスは、“積極的な勧奨の差し控え”の状態が終了したHPVワクチン接種についてです。

2030年にHPVワクチン、子宮頸がん検診、子宮頸がん治療それぞれの介入が増加した場合の変化



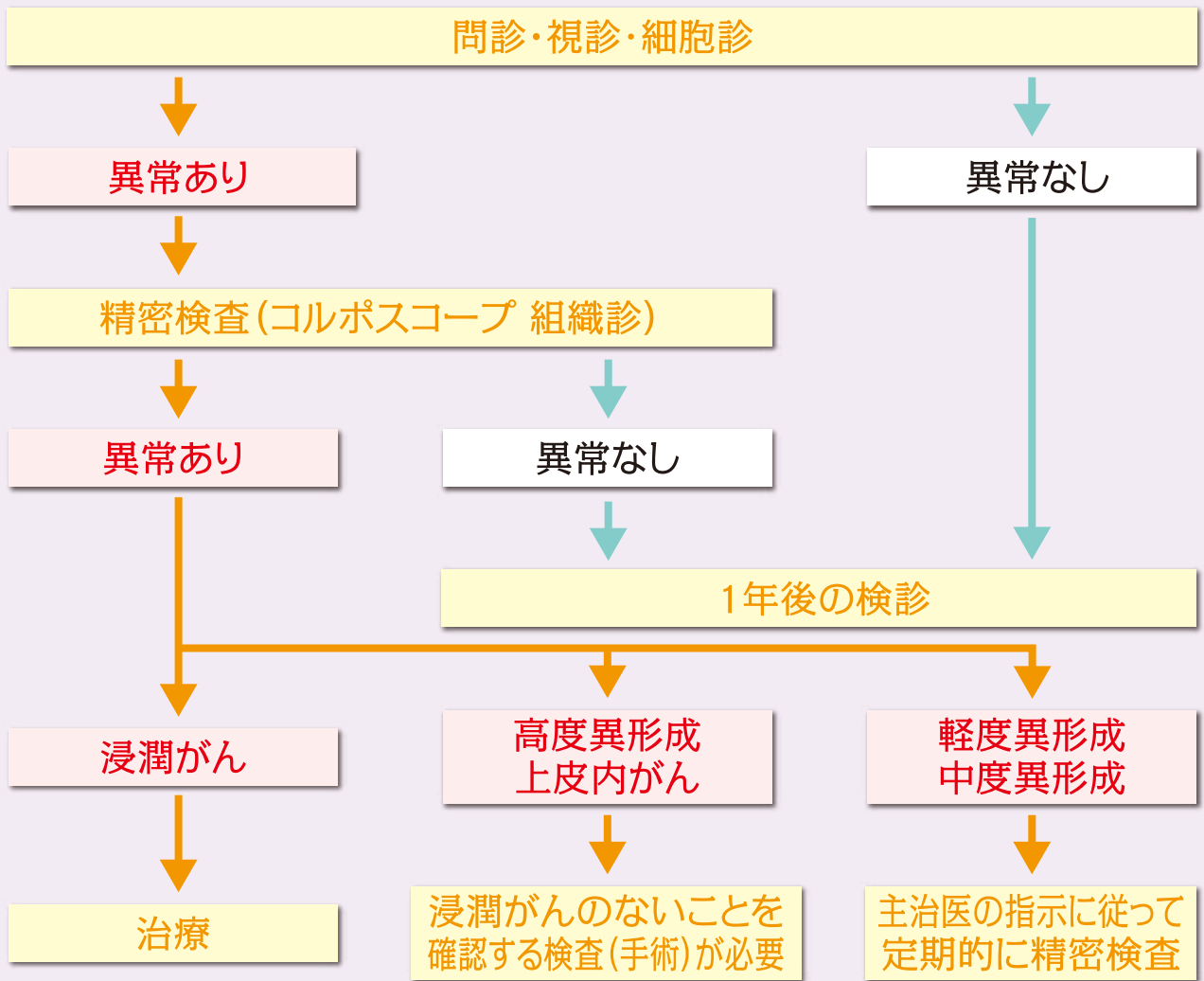
全世界では子宮頸がんでの死亡率は減少し、2060年には子宮頸がんは排除基準まで達するといわれています。

日本は、ワクチン接種の遅れのため、子宮頸がん患者さんの死亡も増えています。積極的な勧奨が差し控えられていたため公費での接種の機会を逃した平成9年度生まれ～平成17年度生まれ(誕生日が、1997年4月2日～2006年4月1日)の女性には、再度接種の対象となります。ただし、公費で接種できるのは、令和4年4月～令和7年3月の3年間になります。当院でもHPVワクチン接種を行っていますので、ぜひご利用ください。

“女性の一生を診る”診療科として、地域の女性の皆様の“かかりつけ医”として、皆様に寄り添う医療を心がけていきたいと思っておりますのでお気軽に受診ください。

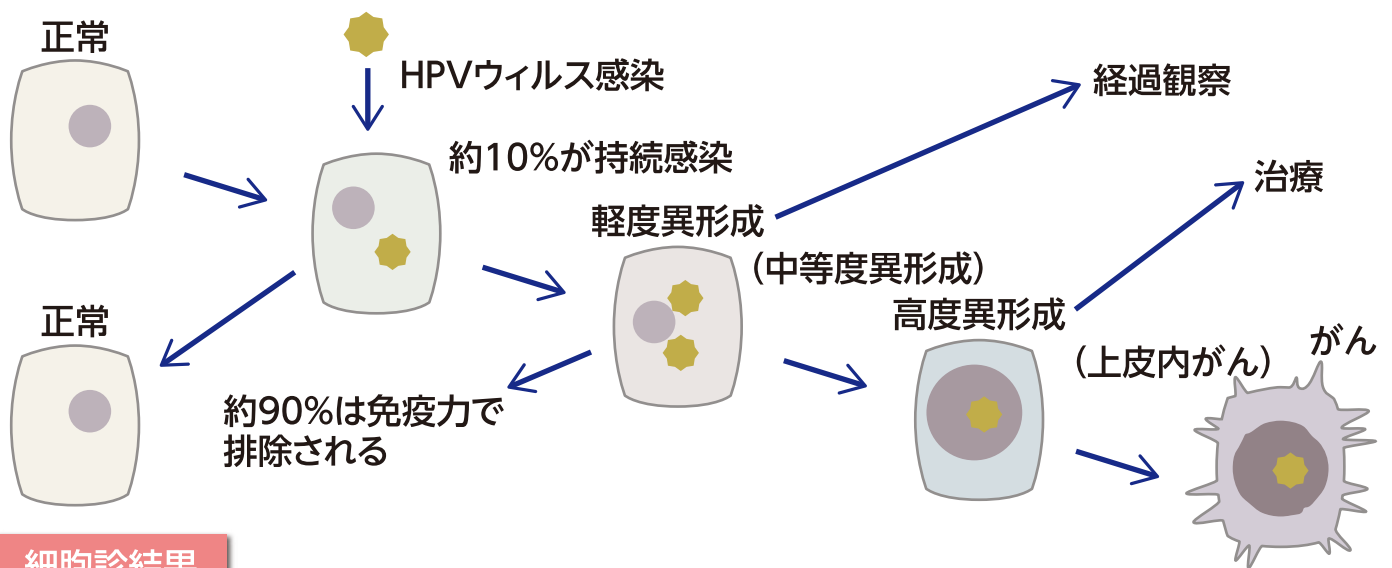
子宮がん検診の流れ

産婦人科及び総合健診センターで子宮がん検診が可能です。



子宮がんの成り立ち

正常細胞 → HPV感染 → 異形成 → 子宮頸がん



細胞診結果

陰性 → 軽度病変疑い (ASC-US) → 軽度病変 (LSIL) → 高度病変 (HSIL) → がん (SCC)
 I・II II-IIIa IIIa IIIb IV V